

ダーズリン

クルセオン・ミリク
Darjeeling
カリンポン・ガントック

西ベンガル・風薫る紅茶の故郷

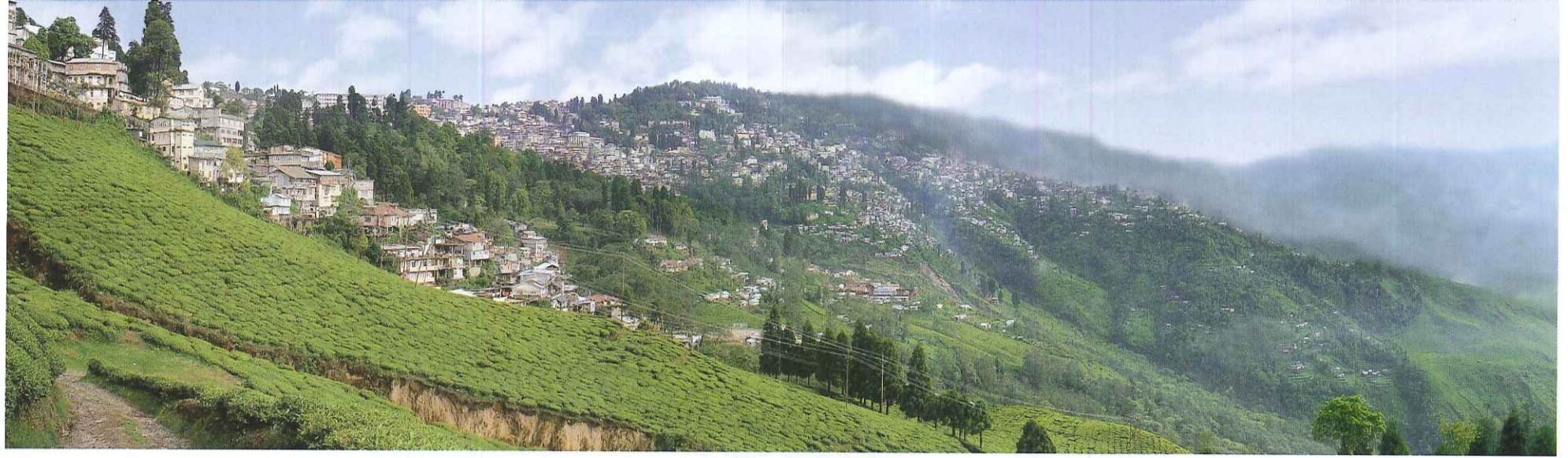


Incredible India

インクレディブル・インディア

インド政府観光局

Indiatourism, Tokyo



ダーズリン

紅茶の故郷としても知られるダーズリンへ向かうには、トールスの谷にあるバグドグラ空港からパンカバリを抜ける美しい道を通って行きます。周囲にはすでに、この先にあるラジェラ・ヒル・リゾートの魅力を想像させるような風景が広がっています。深い渓谷を貫いて激しく流れる清流、紅茶農園の広大な広がり、そして赤い屋根の小さな家々の集落と、それを覆いつくすような緑の樹々。ラジで最も人気のある夏の避暑地、ダーズリンへの道しるべです。

1829年頃、かつてのグルカ砦の英国人たちが、樹木に覆われた尾根を探索、雄々しいカンチェンジュンガ山脈を見渡し、美しい風景が広がる岩の尾根を発見しました。ここは、1817年のティタリヤ条約により敗北したグルカ族から英国に割譲されたところですが、その圧倒的な景観と清らかな美しさ、澄み切った空気などから、理想的な保養地として英国人たちに認められました。こうして、ダーズリンはたちまちのうちに英国人の休暇用避暑地の仲間入りを果たします。

その後、ここを訪れる人々が増加し、また、新しい観光資源などの開発も進んで、周辺の町や村が拡張、地域経済の発展を生み出しました。

年間を通してここを訪れる旅行者たちには、丘の上の由緒ある町並みがとても人気があります。春は、一面に咲き誇る花畑。芳しい松の木々を抜けて来てそよ風。魅惑的な夏は、心地よい季節風と共に過ぎて行きます。そして秋は、カンチェンジュンガの山並みが色付き、冬は純白の雪景色が楽しめます。



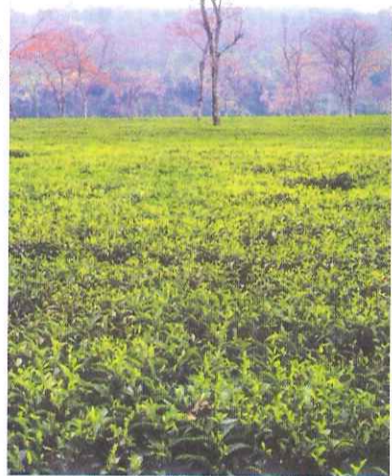
チョーラスタ

モール通り、レイデン通り、そしてヒルカート通りなどホテルやショップ、レストランが立ち並ぶ大通りは、ダーズリン観光の拠点です。街の中心にある市民の遊歩道、モール通りゆったりと歩いて行くと、人気のビュー・ポイント、チョーラスタに出ます。

ここからの雄峰カンチェンジュンガ(標高8598メートル)の眺めは抜群。また、ポニーの乗馬や手工芸品のショッピングも楽しめます。そして、この近くにあるバン・バクタ・サラニからも壮大な山脈の素晴らしい景観が見渡せます。グレナリーズでお茶に立ち寄るのも良いでしょう。霧が晴れた時、そこから見える町並みや山の峰々の素晴らしい景色をお楽しみ下さい。

ブディア・ブスティ僧院には、素晴らしい壁画と、古い仏典の収蔵物があり、チベット仏教の死者の書の原本が収められています。旧共同墓地には、チベット語の文法の辞書を出版した著名な東洋学者、アレクサンダー・コロスの墓があります。

ゲームでは、イガ・チョリン仏教僧院に立ち寄ることをお勧めします。そこに、4,57メートルもの高さの弥勒菩薩の金メッキ像があります。



一杯の美味しいお茶

モール通りをひととおり歩いたら、植民地時代からここで世界最高級の紅茶を栽培してきた農園団体のお茶会が体験できる、紅茶農園クラブを訪ねてください。ハッピー・バレー紅茶農園が、農園ツアーをアレンジしています。かつて、ナワーブやマハラジャたちが、コルカタやその他の地方から従者を従えて訪れていた、ジムカーナ・クラブで午後のお茶会を楽しむことも出来ます。

散歩やピクニック

小さな散歩道が、丘の斜面を覆う美しい花々で溢れた庭園や、鬱蒼とした木々が生い茂る植民地時代の別荘群を縫うように広がっています。松の木々やつつじの森の中を歩き、華やかな風景や花々香りに包まれて散歩が楽しめます。

タイガー・ヒルに程近いセンチャル湖は、ピクニックに最適な場所です。美しいロイド植物園に立ち寄ってから、世界最高地にある最も小さなレース場、レボングレース場に向かうのも楽しみです。このレース場は、5月、6月から10月11月までが活動の拠点となります。

タイガートップ

日が昇る頃、ここからのカンチェンジュンガや周辺の峰々の眺めは最高です。タイガーヒルの霧が晴れば、世界で最も雄大な山脈の素晴らしい景観が、360度のパノラマ眺望できます。そして、運がよければ、普段は人目を拒むエベレストにも出会うことが出来るでしょう。



トイ・トレイン(おもちゃ機関車)

ダーズリンのトイ・トレインは、現在ユネスコの世界遺産になっています。クルセオンからダーズリンまで、標高7407フィートのゲームを経由して、世界で最も変化に富んだ路線の一つであるコースを走ります。ゲームまではくねくねとした登りで、機関車を巧みに操らなければなりません。ゲームからダーズリンまでは急降下の路線。有名なバタシア・ループで機関車運転の醍醐味です。ミニチュア駅で降りて、博物館で、その歴史的重要性を確かめることも出来ます。

ヒマラヤ登山協会

バーチ・ヒルの深い緑のなかに建物がある歴史的な協会です。インドで最も冒険的な探検と遠征の拠点ともなっています。世界有数の登山学校があり、博物館には、数々の果敢な偉業についての豊富な資料が収められています。

希少生物

パダマジャ・ナイドウ動物公園は、絶滅危惧動物保護のための重要な拠点です。レッサーパンダやユキヒョウなどを保護しています。ユキヒョウ保護センターでは、珍しいヒョウを見学することが出来ます。



冒険パラダイス

ダーズリン郊外の最も人気のあるトレッキングルートは、風向明媚なシンガーリ丘陵地帯にあります。マンバジャン-サンダクプー-ファルト-ラマン-リンピック-ビジャンバリのルートは5~7日間のトレッキングコースです。このコースの最大の見所は、エベレスト、カンチェンジュンガ、マカル、そしてローツエ山脈などのパノラマビューです。

また、ダーズリン、タイガーヒル間にも片道3時間程度の人気トレッキングルートがあります。ティースタ川でのラフティングなども人気があり、各コースの詳細は観光局事務所にお問い合わせ下さい。

ショッピング

骨董品、タンカ(チベットの仏画)、カーペット、毛織物、仮面、ネパールナイフ、紅茶などは、チョーラスタやモール通り沿いの店で求められます。チベット難民自立センターやヘイドン会館では手工芸品が販売されています。



ツォンゴ湖とナトゥラ

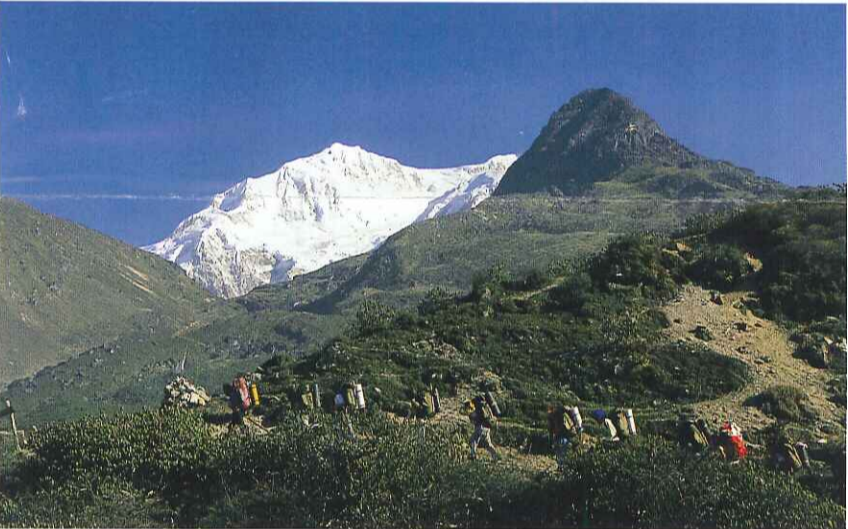
聖なる湖ツォンゴ湖はガントックからおよそ40キロの所にあります。頂に雪をかぶる峰々に囲まれた美しい湖は、一年を通して神秘的な佇まいを見せています。夏には山肌が一面の花に覆われ、冬は銀世界となります。ヤクに乗っての散策や美しい風景の撮影など、思い思いの楽しみが味わえます。

長い歴史を持つナスラ峠(標高14200フィート)は、ガントックからおよそ56キロ、中国との国境沿いにあります。古くから重要な交易所でしたが、長い間閉鎖されてきました。現在、その空白を埋めるべく努力が重ねられ、必要な許可証を持つ限られた旅行代理店のみが両側への通行が許可されています。



冒険心

シッキムは、眩いばかりのヒマラヤの風景で知られ、ガントックは、バックキム、ゾングリ、ユクサムへの登山やトレッキングのための重要なベース拠点です。ランジットやティースタ川では、専門のスペシャリストにより川下りが体験できます。また、観光局事務所が提供するヘリコプターツアーもあり、空から、周辺の町や山々の雄大な景色を堪能できます。



ショッピング

彫刻が施された木製のテーブル、絵画、絹のバックやジャケット、毛織のカーペットなど、工芸織物物産店でのショッピングが楽しめます。バザールでは、木工品、電子製品、衣料などが売られています。チェリー・ブランドーやパン・リキュールがお土産として人気があります。



アクセス

【空路】

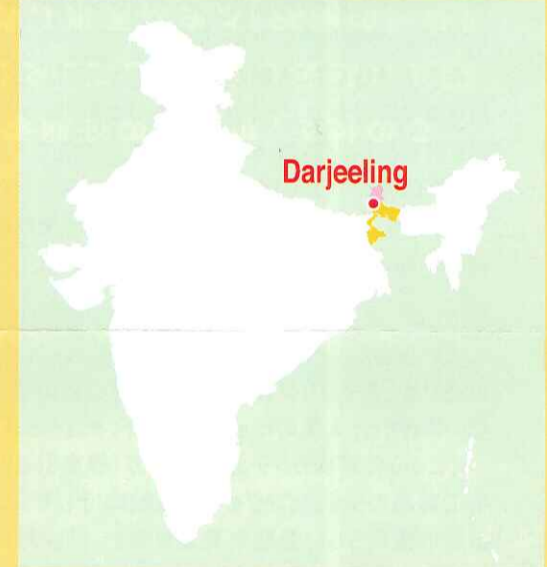
最寄の空港はバグドグラ空港(ダーズリンから96キロ、カリンボンから80キロ、クルセオンから60キロ、ミリックから55キロ、ガントックから124キロ)で、コルカタ、デリー及びグワハティからインディアン・エアラインズとジェット・エアウェイズが運航。

【鉄道】

最寄の鉄道駅はニュー・ジャルパイグリ/シリグリ駅(ダーズリンから86/80キロ。)

【道路】

いくつかの主要都市と接続。



外国人観光客のシッキムへの入所手続き

グループ観光客の中の個人は、ガントック、ルムテック、フォドン及びヤマセンに15日間滞在できます。最低限4名のグループは、ゾングリ(西シッキム)にのみトレッキング目的で15日間滞在できます。許可証の許可は以下で入手可能です。

- ① 全ての在外インド大使館
- ② コルカタ、デリー、チェンナイ及びムンバイの地方外国人登録局
- ③ シッキム、シリグリ政府機関の局長補佐(観光局)
- ④ シッキム、ニューデリー政府機関の副局長(環境局)
- ⑤ シッキム、コルカタ政府機関の地方局長補
- ⑥ ダージリンの副局長

ベストシーズン

3月～6月半ば及び
10月～12月

長距離通話局番

ダーズリン
クルセオン } :0354
ミリック }
カリンボン : 03552
ガントック : 03592





クルセオン

平原地帯のシリグリと丘陵地帯のダーズリンの間に位置し、バグドグラ空港からおよそ60キロの所にある美しい町です。その名は、この地方に自生するランの花、クルソンリップに由来しています。この小さな白いランが一面に咲き乱れる町は、ラビンドラナート・タゴールやマーク・トゥエインが愛した町です。英国統治時代にはネタジー・スパーシュ・チャンドラ・ボースがこの近くに抑留されていました。

深い森に覆われた尾根には、コテージや学校が点在していて、心地よい気候と穏やかな風景、そして、季節風がもたらす霧が、まるで奇跡とも言えるような情景を生み出します。

ダーズリンのトイ・トレインは、果物や野菜を売る農民、顔をほてらせた学童、ギョーザ屋や紅茶の露店でごった返した、クルセオンの小さな市場から出発しています。緑の木々、花が咲き乱れる牧草地や湿地に隠れるように建つ幾つかの小さな礼拝堂に沿って、散歩道が続いています。そのままナグリ峠やイーグルの崖まで行けば素晴らしい眺めが楽しめます。

ミリク

シリグリとダーズリンの中間点、パンカバリのルートではクルセオンから37キロにあるここも美しい町です。カルダモンとオレンジ農園の広大な広がりの中にある美しい湖に面しています。

ダーズリンへの訪問者の一段の増加によって知られるようになったミリクでは、ボート、軽いトレッキングなどが楽しめ、美しいヒマラヤ山脈も眺められます。



カリンポン

大きな尾根にまたがり、ティースタ川渓谷と紅茶農園の丘を見渡すカリンポンは、ダーズリンからおよそ50キロ、ガントックから25キロの所にあります。澄み切った空気と豊かな自然環境に恵まれたこの町は、ゆったりとした、牧歌的とも言える休暇を過ごせる場所です。

冒険を愛する訪問者も訪れ、その中には、恐れを知らない登山家であり、「セブン・イヤーズ・イン・チベット」の著者でもあるヘンリッヒ・ハレルがいます。彼は、この崇高な雰囲気さえもたたえた丘陵の町に心奪われ、この地で多くの探検を計画、酒を飲みながら物語の構想を練りました。

壮観な高山

1920年代初頭から、この美しい町は、冒険者たちの拠点でした。東部ヒマラヤ山脈には、彼らの心を惹きつけてやまない魅力があり、カリンポンは物資調達のためにも、ベースキャンプのためにも重要でした。カンチェンジュンガやランジット川が流れるティースタ渓谷に広がる緑に覆われた景観も見事です。

ドースまでのルートのトレッキングも楽しめます。モミヤオークの太古の森に囲まれたルートは、ラバやロライガオンの霧にかすんだ姿を眺めながら、ヒマラヤ、レチラ、ジェレバ・パセスなどの景観も楽しめます。



丘の斜面を散歩する

丘をぶらぶらと散歩すると、様々なものに出会えます。モーガン・ハウスは、かつて荘園領主の邸宅で、石造り立派な建物は、現在、観光局が経営するホテルになっています。近くにはアーミー・ゴルフコースがあります。

小道を辿ってゆくと、最古の僧院、トングシャ僧院（1692年、ブータン様式）があります。その他、ベドン僧院は1837年に建てられたブータン様式の僧院です。ティルパイの丘にあるのは、1937年に建てられたイエローハット宗派のタルパ・チョリン僧院です。ドゥルピン・ダラの頂上にあるのはゾンドク・パーリ・フォーブラン僧院からは、美しい風景が眺められます。

50エーカーもの広さがあるドクター・グラハムズ・ホームは、紅茶栽培の農夫たちの子供を教育するため、1900年、ドクター・ジョン・アンダーソン・グラハム師によって設立されました。このホームの礼拝堂には、素晴らしいステンドグラスの窓があります。

豪華な花々

カリンポンのグラジオラスやランは、東部ヒマラヤの植物のバラエティに富んだ豊かさを代表しています。



ガントック

神秘的な高峰、カンチェンジュンガに連なる山々に囲まれたシッキムは、孤立した山の王国、伝説のシャングリラです。

尾根の緑に覆われた巖の中に隠れるようにしてある湖や僧院は人々の崇拝の対象でもあります。そして、小さなコテージとレブチャ地域社会の文化遺産が特徴的なシッキムは、今、ゆっくりと外の世界とのつながりを広げています。

北をチベット、東をブータン、西をネパール、そして、南は西ベンガルに接しているこの町は、訪れる人に、数限りない冒険心と刺激を与え続け、魂と精神を活性化させます。そして今は、世界中の行楽客を、慎重に受け入れつつあります。

東部の主要都市ガントックは、北部シッキムのボダンやユマタン、西部のペリング、ペマヤンツェ、ユクサムへの旅の重要な拠点です。

僧院

チベット仏教カギョバ宗派の本院、ムルテク僧院は、16世紀にチベットからギャラ・カルマパが到着した後に建てられました。ガントックから田畑ときらめく小川を越えた場所にあります。見晴らし所からは、ティースタ川とランジット川の合流点のパノラマが楽しめます。

ルムテクは、チベットのツルプー僧院の影響を受けて建てられました。そのほど近くにあるこの地方発祥の僧院は、シッキムの四代目チョグヤルの統治時代に建てられたもので、現在は修復され、素晴らしい伝統絵画が多数収められています。シッキムの人々の新年の祝いであるロソングの時期にルムテックを訪ねると、色鮮やかで華やかな式典や儀式、僧の舞踊、舞踊チャムが楽しめます。

ガントックの郊外20キロほどにはズルマン・カギョト僧院があります。さらに離れた所には、シッキムで最古で、最も信仰を集めている聖地、タシディン僧院とペヤマンツェ僧院があります。

